

スマートセーフシティ佐野推進協議会

総 会 資 料

日時：令和6年7月5日（金）13時30分

場所：佐野市役所 6階 大会議室AB

スマートセーフシティの推進について【概要】

○スマートセーフシティ推進の目的

デジタル技術を活用し、市民の健康で安全・安心な暮らしを実現する

➡「スマートシティ」+「セーフ」

○経過

〔令和3年度〕 情報連携基盤構築に向けた、街歩きアプリやデジタルハザードマップなどの実験

〔令和4年度〕 スマートセーフシティを目指したサービスの実証実験やDXの取組

・各業務のデジタル化による改革、健康アプリなどの実証実験

〔令和5年度〕 庁内業務のデジタル化、デジタルサービスの実証実験から実装を目指す取組

・全庁的なデジタル化の改革、さのまる健康アプリ、さのスマートセーフマップ など

〔令和6年度〕 事業のデジタル化の推進、デジタルサービスの普及・利便性の向上

・デジタル化の推進、情報格差(デジタルデバイド)解消の取組、さのスマートセーフマップ など

令和5年度 佐野市全体の事業

担当課	事業名	内 容
デジタル推進課	スマートセーフシティ推進事業	さのまる健康アプリキャンペーン。さのスマートセーフマップ
情報政策課	文書電子決裁システム構築事業	文書の電子的保存、決裁業務の電子化のためのシステムの構築
情報政策課	情報化推進事業	LoGoフォームの導入
情報政策課	ChatGPTの実証実験	ChatGPTを使った実証実験
市民課	届出証明等窓口サービス運営事業	「書かない窓口」の開設（委託事業者が実施）
保育課	公立保育園 I C T 化推進事業	ICT機器を整備し、保護者へメールでの連絡、登降園管理、保育計画の管理、GPSやBluetooth機能を活用した園外活動時の安全確保
健康増進課	出産・子育て応援事業	子育て支援アプリ「こども★みらいナビ」の導入
文化推進課	とちぎデジタルミュージアム” SHUGYOKU”	栃木県のとちぎデジタルミュージアム” SHUGYOKU” に協力し、伊藤若冲《菜蟲譜》のデジタルデータの掲載や吉澤記念美術館所蔵品などの撮影
観光推進課	佐野らーめん店の混雑状況可視化	佐野らーめん店等の混雑状況可視化、マップの作成と公開による市内周遊を促す取り組みの実証実験（栃木県の事業）
道路河川課	道路台帳補正事業	LGWAN回線を使って、路線名や道路幅員の地図情報、境界協定書の資料を閲覧・編集できるシステムの構築
道路河川課	道路台帳補正業務	統合型GISに道路網図レイヤを追加し、公開型GISに市道路線名を掲載
教育センター	生成AI試験的活用	校務における生成AIの試験的活用、有効性や懸念・リスク等の検証
生涯学習課	図書館等指定管理事業	電子図書館の開始（指定管理者が実施）
警防課	災害用ドローン整備事業	災害用ドローンの導入
予防課	火災予防分野における各種手続きの電子申請導入事業	消防訓練計画書、消防訓練結果報告書の電子メールでの申請システムの導入
その他	事 例	LoGoフォームによる申込、RPAによるアプリ内お知らせ〔デジタル推進課〕 RPAを活用したイベントの観覧申込者へのメールの自動化〔広報ブランド推進課〕 財務会計システムの電子化〔財政課〕 LoGoフォームによる公用車運転日誌入力の開始〔財産活用課〕 AI-OCR、RPAを活用した申告書入力業務の効率化〔市民税課〕 LoGoフォームを活用した受験申込、RPAを活用した受験者へのメール送付〔人事課〕 LoGoフォームによる省エネ家電購入補助申請受付〔気候変動対策課〕 市民意識調査、事業所実態調査にLoGoフォームを活用〔人権・男女共同参画課〕 LoGoフォームによる講習会・各種講座・健診の申込、AI-OCR、RPAを活用した予診票の入力〔健康増進課〕 LoGoフォームによる通報フォームの試作〔水道課〕

令和5年度 さのまる健康アプリキャンペーン 概要

目 的	市民が楽しみながら主体的に健康づくりに取り組むための仕組みを構築 歩数、BMI、健診（検診）の受診・未受診などのデータを収集
対 象	18歳以上の市民
期 間	6/1 ～ 1/31
概 要	① 参加者は、アプリをインストールして初期登録 ② 参加者は、歩いて歩数を送信、体重の入力、講座・ウォーキングコースへの参加、健診・検診の受診、アンケートへの回答でポイントを取得 ③ 目標ポイントを達成した方へデジタルギフトを送信 ④ 取得したデータの集計・分析
備 考	アプリのインストール・初期登録のための説明会を開催 携帯ショップおよび佐野日本大学短期大学でスマートフォンの操作に不慣れな方を支援

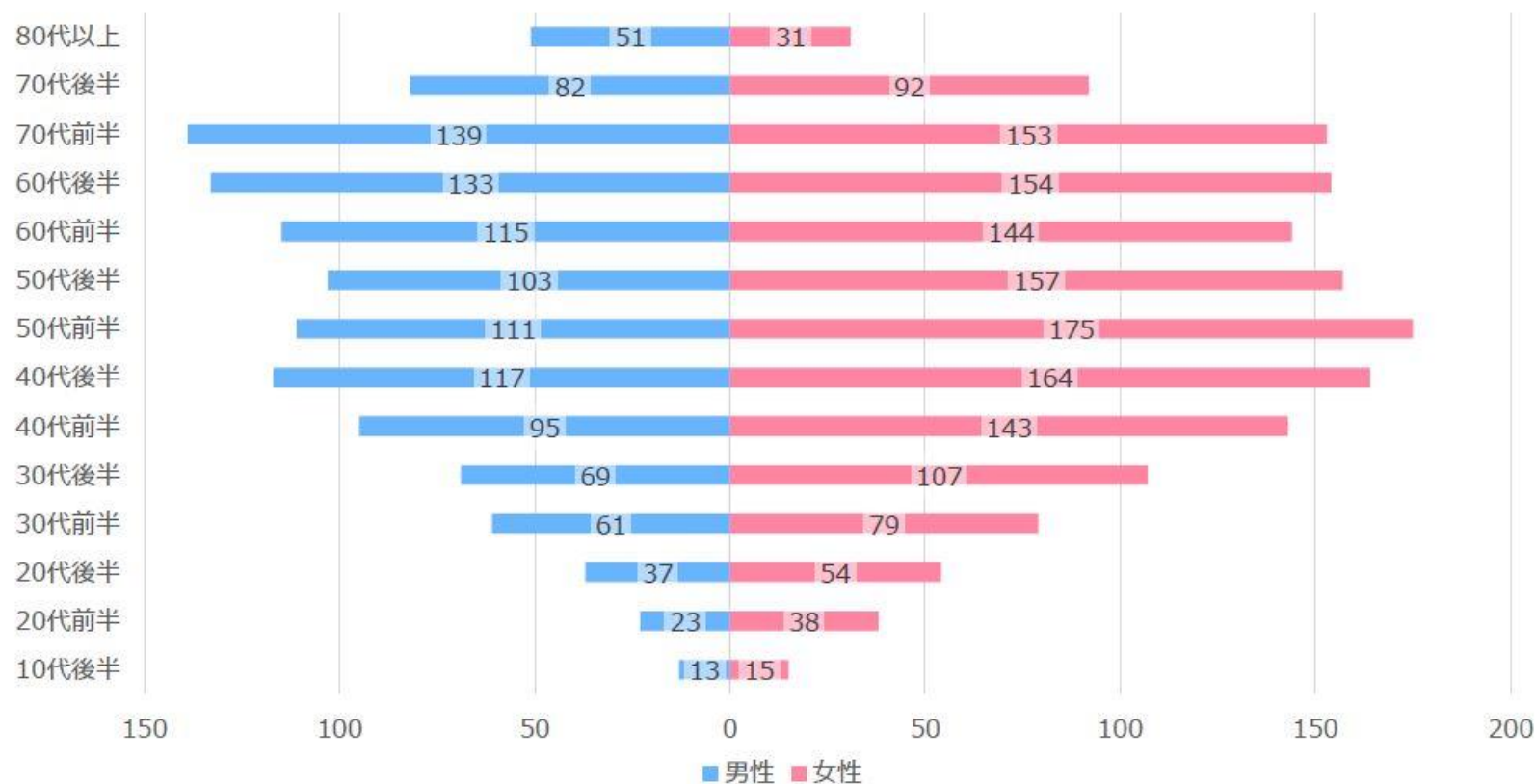
令和5年度 さのまる健康アプリキャンペーン 結果

参加者の構成_年代別

参加者の構成

■年代別 (N=2655)

参加者のボリュームゾーンは男性が70代前半、女性が50代前半と差が見られた。



令和5年度 さのスマートセーフマップ 概要

目 的	防災に役立つ情報をまとめたデジタルハザードマップと、もしものときに役立つデジタルセーフマップを組み合わせたサービスの構築 もしもの場合にも慌てずに利用できるように、日常的に利用できる機能の拡張
概 要	① デジタルマップ上に洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域などを表示（デジタルハザードマップ） ② ①のマップ上に、避難所、雨量観測所、河川の水位計・水位カメラの情報を連携 ③ デジタルハザードマップと切り替えて利用できるデジタルセーフマップを作成 ④ ③のマップ上に、AED設置施設、休日・夜間緊急診療所、休日歯科診療所、警察署、消防署を表示 ⑤ 市民サービスの向上、市の業務の効率化のための投稿機能の実証実験の実施
投稿機能の実証実験	① さのスマートセーフマップ（8月～12月） 環境政策課、都市整備課、道路河川課、下水道課、総務課 ② L o G o フォーム（12月～3月） 環境政策課、都市整備課、道路河川課、下水道課

令和5年度 さのスマートセーフマップ 結果

方 法	「さのスマートセーフマップ」投稿機能や 「LoGoフォーム」を使った投稿実証実験	※「LoGoフォーム」…電子申請や申込予約、アンケートなどのフォームを 作成・集計し、一元管理できる自治体専用のサービス
関 係 課	環境政策課 都市整備課 道路河川課 下水道課 総務課	
投稿の内容	環境政策課（動物の死骸） 下水道課（施設損傷） 都市整備課（公園損傷） 総務課（消防団との連絡） 道路河川課（道路損傷）	
期 間	8～11月（「さのスマートセーフマップ」投稿機能） 12～3月（「LoGoフォーム」による投稿）	
市民にとって の効果	① 閉庁時間中でも連絡できる。 ② 位置情報で場所を正確に伝えることができる。 ③ 写真により現場の状況を伝えやすくなる。	
市の業務に とっての効果	① 電話での聞き取りよりも場所を確認しやすい。 ② 写真を活用することで業務効率化につながる。	
考 察	業務によって求める機能が異なることや、運用していく中で項目の追加や変更などが生じた際に、業務の都合に合わせて随時カスタマイズが行えるような環境が必要であることから、「LoGoフォーム」による投稿が最適ではないかと思われる。	

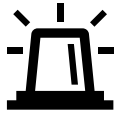
令和6年度 佐野市全体の事業

担当課	事業名	内 容
デジタル推進課	スマートセーフシティ推進事業	さのスマートセーフマップ。携帯ショップによるさのまる健康アプリの導入支援。デジタルデバイド解消の取組及びDXの推進
行政経営課	佐野新都市行政サービスセンター設置事業	書かない窓口システム、受付予約管理システム、キャッシュレス対応セミセルフレジを導入したスマート行政サービスセンターの設置
情報政策課	情報化推進事業	ChatGPTの導入、SMS配信システムの導入
介護保険課	介護認定デジタル化推進事業	ペーパーレス会議システムを使った介護認定審査会の開始 訪問調査支援システムを使った介護認定調査業務の開始
健康増進課	健康マイレージ事業	さのまる健康アプリを使った健康づくりキャンペーンの開催
健康増進課	定期予防接種事業	デジタル予診票システムの導入に向けた取組（関係機関へ説明を行い、協力していただける医療機関で試行）
文化推進課	とちぎデジタルミュージアム”SHUGYOKU”	とちぎデジタルミュージアム”SHUGYOKU”に協力し、令和5年度に撮影した所蔵作品などの掲載
観光推進課	ラーメン店混雑状況可視化による市内周遊促進事業	佐野らーめん店等の混雑状況の可視化、マップの作成と公開による市内周遊の促進
農山村振興課	佐野市むらづくりそばスタンプラリー開催支援事業	4か所の農村レストランを巡るデジタルスタンプラリーの開催
水道課	水道管理台帳システム	マッピングシステムのクラウド化の検討
総務課	消防団活動事業	消防団業務支援システムの導入
その他	事 例	LoGoフォームを使ったアンケートの試行〔広報ブランド推進課〕 財務会計システムの電子化〔財政課〕 LoGoフォームによる公用車運転日誌の入力〔財産活用課〕 AI OCR、RPAを使用した、一部市・県民税申告書入力業務の効率化〔市民税課〕 LoGoフォームを活用した受験申込、RPAを活用した受験者へのメール送付、オンライン面接の実施〔人事課〕 LoGoフォームによる省エネ家電購入補助、次世代自動車購入補助申請受付〔気候変動対策課〕 LoGoフォームによる講習会・各種講座・健診の申込、アンケートの実施〔健康増進課〕 子育て支援アプリ「こども★みらいナビ」の活用〔健康増進課〕 LoGoフォームを使った通報受付の実証実験〔下水道課〕

さのスマートセーフマップ概要（利用イメージ）

【セーフマップ】

・健康のため街歩きしたけど、暑くてたまらない。どこかに休める場所はないかな？
・人が倒れている。救急が来るまでに応急手当を行わなければ！

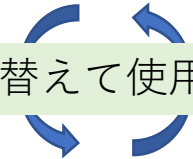


・一番近いクーリングシェルターはどこだろう？
・AEDが必要だけど、どこにあるか分からない・・・。

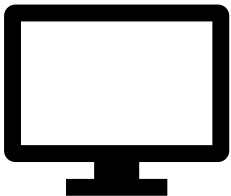
そんな時は



切り替えて使用可能



今後、大雨、土砂災害に注意してください。



自宅の場所は大丈夫かな？
近くの川はどの位増えているのだろう？

そんな時は



【ハザードマップ】 8

令和6年度 さのスマートセーフマップ 計画

概 要	① マップに追加する情報の検討・掲載のための改修 ② 市民サービスの向上のための検討 ③ 国の「データ連携基盤の共同利用」の方針に基づくデータ連携基盤（都市OS）利用の方向性の検討 ④ 県のデータ連携基盤の整備に合わせたサービスの検討
国の方針	データ連携基盤は原則、都道府県で1つとし、各市町村で共同利用を図る
県の計画	令和6年度 データ連携基盤の構築に向けた調査 令和7年度 データ連携基盤の構築 防災分野から始めて、防災に関する情報を地図データと連携させて見える化

※ 県がデータ連携基盤構築に向けた調査等を行っていく際の協力を行う。